

# 三中だより

三崎中学校校歌

珠洲の海原 そよ風渡り いま朝日子の 光のうちに  
玉も白たま より来る岸边 望みあふれて いそしみはげむ  
我等が 三崎中学校

校訓 自治 親和 責任

学校教育目標

自立して学び  
人と協働して  
貢献できる生徒の育成



令和5年6月27日 第3号 珠洲市立三崎中学校

珠洲市立三崎中学校

検索

## 「私の出発点～厳しい言葉の裏にあるもの～」 校長 濱野 裕之

先日、1年生と道徳の授業をしました。道徳では、議論することにより、多面的・多角的に考えること、生き方について考えを深めることが求められています。私たち三崎中学校は、少人数であるため、異なる様々な考えに触れる機会が限られてきます。そこで、様々な意見に触れる機会を少しでも多くするために、担任の先生だけではなく、他の先生方にも道徳の授業に入ってもらい、生徒に多様な学びができるようにしています。今回の授業はその一環で、「私の出発点」という資料を使って授業しました。

あらすじを紹介します。

入院していた実家の祖母を心配し、東京から故郷の金沢に向かった美咲。東京では、夢であった雑誌の編集者になっていた美咲であったが、孤独感や不安感がつり、仕事への情熱も薄れてきていた。金沢について美咲は、病院の部屋の前まで来た。しかし、上京する前に上京に反対する祖母と口論をしたまま3年間帰っていなかった美咲は、気持ちが重く、病室の戸を開けることができなかった。通りかかった看護師さんから祖母が、いつもアルバムを見て「美咲は私の自慢の宝」だと話していることを聞き、胸が熱くなった美咲。病室に入った美咲は、祖母の笑顔を見て涙が溢れた。声を上げて泣く美咲に、祖母はやさしく声をかけ、美咲の腕をさすった。次の日、東京に帰る美咲は、何か大きなものが私を後押ししてくれている気がした。

資料には、美咲と祖母が口論する場面が出てきます。私はこの場面を示し、次のように問いました。

祖母：東京に何しにいくがいね。

美咲：文学の勉強をするの。そのまま東京の出版社に就職して、雑誌の編集をするのが私の夢なの。

祖母：そんな甘いこと言って、身の程を知りまっし。美咲が通用するような所じゃないよ。

美咲：ひどい、何でそんなこというの。

祖母：家族が近くにおるっていうのが、一番いいんやよ。」

美咲：おばあちゃんなんか、私のこと全然わかってないくせに！

【問】美咲さんとおばあちゃんが、口論をしています。あなたは、どちらを応援しますか。

この問いに対して、4人は、美咲さんを応援する意見を述べました。理由は文学の勉強や、雑誌を編集するのは、美咲さんの夢で、それを実現してほしいからというものです。これに対して1人は、祖母を応援する意見を述べました。理由は、東京に出ると大変なことがあり、美咲さんのことを心配しているからというものでした。こうした意見の違いが互いの考えを成長させます。多面的、多角的に考えるとは、プラスの面だけでなく、マイナスの面にも目を向けたり、美咲の立場だけでなく、祖母の立場からも考えたりすることです。この話し合いにより、生徒たちは、祖母の否定的な発言は、美咲を心配する思いから出ていることに気づきました。

授業の最後に私は次のように問いました。

【問】東京に帰った美咲さんは、孤独や不安を乗り越えられるだろうか？

5人全員が乗り越えられると答えました。理由は、祖母とのつながりや愛情を感じることで頑張ることができるからというものでした。離れていても家族の絆が力を与えてくれることに気づいてくれていました。

愛情の表現は、家族によって様々であり、常に「やさしい言葉」であるとは限りません。自分にとって厳しく、辛い言葉であることもあると思います。しかし、その言葉から自分の成長や幸せを願う思いを感じ取ることができるようになると、さらに一段成長できるのだと思います

三生一人一人が、多面的・多角的な見方・考え方ができるよう、取り組んでいきたいと思っています。



3年生にとっては、これまでの部活動の集大成となる能登地区大会が行われました。また、3年生ペアが個人戦に出場しました。残念ながら、県大会出場の切符を手にはできませんでしたが、試合の内容は勝利まであと一歩というところまで詰め寄るなど、満足できるものでした。また、バスケットボール部と野球部は、他校との合同チームでの試合でしたが、「最後まで三中生らしくプレーする」「チーム一丸となって協力して頑張る」などの目標を達成することができました。ソフトテニス部は、これまでの練習を生かしたプレーをすることができました。

ソフトテニス部



試合では、自分があまり動くことができず、悔しかったです。サーブは入ってよかったです。3年 川上 華凜

サーブが入らなかったことと、動けなかったことが残念です。チームでの声かけはできてよかったです。

3年 表 可暖

野球部



試合に負けてしまい、県大会に出場できないので悔しいです。3年 竹中 猛

ヒットを打って塁に出ることで、得点に絡むことができてよかったです。チームに貢献できた。3年 泉 心翔

バスケットボール部



試合では負けたけれど、特に後半、楽しくプレーができてよかったです。部活動では技術面でも気持ちの面でも成長できました。3年 高木 千穂

試合で3ポイントを決めたのは初めてだったので、すごくうれしかったです。部活で学んだことを生かしていきたいと思います。3年 知家 日菜乃

後半では自分からドライブに行き、レイアップを決めることもできたのでよかったです。次の目標を立ててがんばっていきましょう。3年 前 結音

## 中学校相撲選手権大会

相撲部は、7月15日（土）に県大会に出場します。

相撲部は、中学校相撲選手権大会がありました。団体戦は、他校との合同チームで出場し、予選敗退でしたが、個人戦では軽量級で干場湧仁さんが優勝しました。これまで、同学年で部員がない中でも、コーチの指導の下、コツコツと練習に励んできたことが成果に結びつきました。次は、県大会です。力を出し切って、三中生らしい試合をしてほしいですね。

個人優勝ができてうれしいです。しかし、取組の中で体勢が悪かった時があったのでこれからの練習では、形を意識して練習にがんばりたいです。3年 干場 湧仁



6月2日（金）3年生は、ピザ窯をつくった経験のある楓さんのお話を、聞きました。3年生は、昨年度より、三崎町の活性化のため、地元でとれる野菜を活用してピザをつくりたいという思いを持っており、その夢を実現させるためにピザ窯を自分たちの手で作ろうという計画を立てています。その計画がいよいよ動き出しました。「三崎町にピザを焼く匂いがする日もそう遠くないのでは？」と思います。



ピザ窯づくりは意外と大変なんだと思いました。でも、作るからには最後まであきらめず、1つ1つの工程を丁寧に、長い間使えるようなものを作りたいです。お客さんに喜んでもらえることを目標にし、珠洲の活性化につなげたいです。  
3年 川上 華凜

お話を伺って、自分たちにもできそうだと思います。しかし、思っていたよりも工程が多く、大変そうでした。特に設計図が難しそうでした。みんなで協力して仕上げたいです。  
3年 知家 日菜乃

ピザ窯を作るには準備が大事だとわかりました。作ってしまったから動かせないため、設置する場所なども考えて準備しなければならないからです。さらに、薪を置くスペースに湿気がたまらないように工夫するなど、すごいと思うことがたくさんありました。自分たちが作る時の参考にしたいです。  
3年 高木 千穂

ぼくは、ピザ窯を作るのはそんなに難しいことだとは思っていませんでした。しかし、お話を聞いて、たくさんの材料が必要で、細かい作業もあり、難しいことがわかりました。  
3年 竹中 猛

## 海洋ゴミアップサイクル

6月14日（水）

2年生は総合的な学習の時間で「海洋ゴミアップサイクル」に取り組んでいます。海ごみラボの竹下あづささんにお話を聞き、作品を見学してきました。ゴミから素晴らしい作品が作り出されることに驚き、作品制作の意欲につながりました。



ゴミには価値はないけれど、価値をつけることに意味があることがわかりました。ゴミを使ってキーホルダーやしおりが作れることがすごいと思いました。ゴミをたくさん集めて船や靴を作ったりしているのを見て、クリスマスツリーなどを作りたいと思いました。  
2年 瀬戸 愛生

海ゴミの活用の例や実際にゴミで作った作品を見たり触ったりすることができました。作品を見て、自分たちが拾ってきたゴミからどのような作品ができるのかイメージが湧いてきました  
2年 前 颯人

お話を聞いて、とても楽しかったです。私もいつかは大きい作品を作りたいと思いました。海のゴミで作った作品に、高額な金額がついていたのですが、ゴミが高額なのではなく、アップサイクルによって価値がつくということがわかりました。  
2年 畠田 彩羽

海ゴミで海の生物（色とりどりのシャチ）を作りたいです。海ゴミで制作した船に自分の言葉を書くことができてうれしかったです。  
2年 清水 一磨

## 地引網体験

6月14日(水)

1年生は、里山里海自然学校さんによる地引網を行い、海の生き物を調査しました。場所を変えて3回網を引き、どのような生き物がいるかを調べてきました。学んだことを次にとどのように生かしていくのか、楽しみです。



- ・思ったよりも網が重くて引くのが大変だった。カニに手を挟まれた。 竹森 悠貴
- ・カレイやフグなどがたくさん獲ることができて、楽しかった。 宮崎 柊
- ・結構海水が透明で中に魚がいないように見えたけれど、たくさん獲れたので、どこに隠れているのか新たな疑問が生まれました。 新出 海羽
- ・沖の方に行かなくても、魚が結構獲れたので、驚きました。 知家 天乃
- ・みんなで力を合わせて網を引いたので楽しかったです。 竹澤 奈乃花

## 2年生着付け教室

6月16日(金)

三崎公民館で着付け教室があり、2年生が「華むすび」のみなさんに教えていただきました。普段なかなか浴衣や着物など着る機会がなく、不安に思っていたようです。しかし、講師の方々が優しく丁寧に教えてくださったので、最後は自分で着付けをすることができました。



今回人生で初めて浴衣を着ました。帯と浴衣の柄を選ぶのがとても楽しかったです。浴衣と帯がいい感じになった時は「わ〜」ってなりました。初めてでしたが、すごく丁寧に教えて頂いたので綺麗に着付けをすることができました 2年 畠田 彩羽

最初は上手く着付けができるのか不安でした。1回目は帯を動かすのではなく自分自身が回って巻くことや、真ん中をずらさないようにして着ることに苦戦しましたが、丁寧に教えてくださったので、2回目は、何とか自分で着ることができ、とても達成感がありました。

2年 瀬戸 愛生

着物を着るのは予想通り難しかったけど、楽しいところもありました。理由は着たときにかっこよかったからです。 2年 清水 一磨

浴衣を着るのは久しぶりなので新鮮な感じがして、楽しかったです。特に帯を結んだことが印象に残っています。浪人結びと貝の口の2種類を何回もやることで覚えることができました。 2年 前 颯人

## 7月の行事予定

3日(月)・4日(火)・5日(水): 期末テスト	
5日(水)	生徒会専門委員会
6日(木)	薬物乱用防止教室
7日(金)	生徒集会 飯田高校地区別説明会(保護者対象)
11日(火)	シェイクアウトいしかわ・避難訓練
12日(水)	いじめ撲滅集会(6限)
15日(土)	県大会(相撲部)
20日(木)	終業式
21日(金)	通知表渡し
24日(月)・25日(火)・26日(水) わくワーク体験(2年生)	
26日(水)	飯田高校体験入学
28日(金)	能登高校体験入学・保護者説明会

ありがとうございます  
いただきもの

地域の方より『ブロッコリー』  
給食でおいしくいただきました。

アンケート調査の結果、  
三崎中はいじめゼロです。

